



入学式



リンゴ 高密度植栽培



田植え競技会



高校総体壮行式

五農PTAだより

春季ワクワク号

青森県立五所川原農林高等学校

〒037-0093
青森県五所川原市大字
一野坪字朝日田12-37



PTA会長あいさつ

PTA会長 三浦 大介

会員の皆様、

本年度よりPTA会長を務めさせていただきます。三浦と申します。昨年長男が入学し、親の私は「五農」という学校の右も左もわからないまま、学年理事を務め、今年2年目。(2E担当の先生方、今年もお世話になります)

今年も五農祭で好物のネギ買うぞー！と考えていた今日この頃、白羽の矢がどこから飛んで立ったのか会長という大役を担うこととなり、私自身に務まるか不安で夜しか眠れません。

ただ、やると言ったら以上は相応の責任が生じるものです。これから私は、もともと「五農」を知る必要があり、自分で考え分別する機会も作らねばならないところでございます。保護者の代表として、子供たちが充実した学校生活を送れるよう初志貫徹の思いを持って、活動に携わってまいります。その際はPTA役員の先輩方、玉井校長先生をはじめ教職員の皆様、保護者の皆様からご指導ご意見を賜り、手を差し伸べていただけると幸いです。PTA活動は、皆様の協力があれば成り立ちません。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、五所川原農林高校には「正剛明朗」という校訓があり、「地域を愛し、強い意志をもった人間形成を図る」を目標とするとあります。先ほどネットで調べてみました。読み方は長男に教わりたと思っています。

校訓の意味に限らず各々が考え、自分なりのアンサーを持つことが社会の中では大事と考えます。我々が地元、青森県は農業が盛んな地域であり、「五農」の生徒が活躍できる分野は多様にあります。高校生活において培われた知識は、きっとどこでも役立つことではないでしょうか。

私事ですが、青森を離れたことがなく地元愛で今に至ります。また、一次産業である農業に通じた仕事に従事しており、遠からぬ縁を感じております。

最後に、私は今年目標として五農PTAスタンパードのコンプリートを掲げます。(プレゼントがあり)

様々なPTA活動が今年も計画されていますので、凛々しい子供たちの様子見と合わせて、足を運んでくだされば有難いです。重ねてのお願いとなりますが、保護者の皆様にはご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



福士祐規

担当…環境健康フィールドセンター
水田部門

4月1日付で柏木農業高校より赴任しました。

柏木農業高校では、水田部門2年、野菜部門10年担当してきました。

柏木農業高校の前は、本校で林産物環境部門3年、野菜部門6年、機械部門1年担当しておりました。

前回の赴任から12年だいたい本校の施設、設備や実習も変わっているのでもう勉強しながら実習や作業を頑張りたいと思っています。

水田部門では、私が経験した事が無いG.A.P.、蜜苗、K.S.A.S.を実習で行います。早く理解して実習を充実させたいと思っていますので、宜しくお願い致します。



川村晃毅

担当…環境健康フィールドセンター
花卉部門

8年ぶりに本校へ赴任しました川村です。実習教諭として花卉部門に所属しています。

生徒たちに農業の楽しさを伝え、花の栽培や管理技術を指導しながら、今までの経験をいかした新たな気づきやアプローチを取り入れ、生徒たちがより一



小堤幸泉

担当…事務部

今年から主事を担当することになった小堤幸泉です。何事も初めてのことはおぼろげですが、つたなくご迷惑をおかけしてしまっていると思います。いち早く仕事に慣れ、この学校のために力を尽くせるよう頑張っていきたいと思っています。この五所川原農林高校は雰囲気がとてもよく、なじみやすい先生方ばかりです。初めての職場がこの学校で本当によかったです。生徒とも歳が1、2歳しか変わらないので仲良くなりたと思っています。

気軽に話しかけてくれると、とてもうれしいです。何年この学校にいれるかはわからないですが、いなくなる頃にはたくさんさんの仕事をこなせるようになっていたいと思います。



境昂紀

担当…農業 教務部
部活動…卓球部

三戸郡南部町にある名久井農業高校から赴任しました。五農生はだれにでも元気づけよう挨拶をしていて、良い意味で「人類みな兄弟」といった印象です。教務部として生徒の学校生活を少しでもサポートできたらなと思っています。また、自分自身も本校OBなので、OBとしても生徒の活躍をサポートしたいと思っています。さらに、最先端の農業教育を自分自身も学びながら吸収したものをアウトプットしながら頑張ります。今年度からよろしくお願いたします。



令和6年度 PTA事業計画			
単 P 事業			
No.	事業	月 日	場 所
1	学校公開日・令和6年度PTA総会	4月26日(金)	本校各教室 第一体育館
2	全校田植え大会	5月16日(木)	本校水田
3	あいさつ運動	6月4日(火)～6日(水)	生徒玄関付近
4	体育大会	6月14日(金)	本校
5	研修・健全育成役員会・各学年委員会	6月中旬	本校会議室他
6	研修旅行	7月上旬	未定
7	PTAによる環境整備	7月中旬	本校敷地内
8	五農立役武多連行協力	8月4日(日)～8日(木)	五所川原市内
9	全校稲刈り競技会	9月19日(木)	本校水田
10	五農祭	11月2日(土)～3日(日)	本校
11	PTA会費・部活動振興会中間監査	令和7年1月上旬	本校応接室
12	PTA役員会	令和7年3月下旬	本校会議室
13	令和6年度 PTA会費・部活動振興会監査	令和7年4月上旬	本校応接室
14	PTAだより・PTA新聞「清流」発行	5月・12月	

地区・県・全国高P連事業			
No.	事業	月 日	場 所
1	西北地区高P連協議会総会	5月10日(金)	プラザマリユウ五所川原
2	県高P連総会	5月24日(金)	アップルパレス青森
3	県高P連十和田大会	6月7日(金)	十和田市
4	東北地区高P連山形大会	7月4日(木)～5日(金)	山形県山形市
5	全国高P連茨城大会	8月22日(木)～23日(金)	茨城県水戸市
6	各高P連西北地区協議会役員会・各委員会	随時	各担当校

今年度、1学年主任をすることになりました一戸拓道です。宜しくお願いいたします。

新年度が始まり、すでに1ヶ月が経過しました。1学年の生徒達も少しずつ高校生活に慣れ、新しい友人も増えて楽しく学校生活を送っているようです。これから3年間の高校生活では、普段の学校生活をはじめ行事や部活動など、楽しいことや時には苦しいこともあるかと思いますが、そうした様々な経験を通して、社会に出てから必要となる資質や能力を多く身につけて欲しいと思います。

そのためには、できるだけ休まずに学校に来る事が大切です。そういった意味で、今年度の学年目標を「学校へ行こう！」にしました。休みたくなる日もあるかもしれませんが、学校に来ないことには何も経験



1学年主任
一戸 拓道

学校へ行こう！

いった人として求められる資質の基盤となります。各教科や資格取得にも積極的に取り組み、知識と技術を蓄積し、日々の自己研鑽に励みながら、変化の激しい社会を、逞しく歩んでいける人財に成長してほしいと思います。

保護者の皆様や地域の方々と共に、学校の主役である生徒ひとり一人が学ぶことの意義を理解し、自らの可能性を広げる機会を数多く提供できる学校でありたいと考えております。今年度も本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

昨年に続き学年主任を務めることになりました。よろしく願いいたします。令和6年度の2学年は「自他共栄」（じたきょうえい）をテーマにしました。この言葉は、柔道の創始者である嘉納治五郎師範が講道館柔道の指針として掲げた言葉です。互いに信頼し、助け合うことができれば人も世の中も共に栄えることができるという意味です。

高校2年はよく「中だるみの学年」と言われます。しかし、中だるみをしている暇はありません。昨年1年間、本校での生活を経験していることから、後輩を引っ張り、先輩を支えるという重要な役割があります。そして、横の繋がりを大切に、今以上に仲間を思いやる優しさを身



2学年主任
小川 大樹

いあこわい

できません。悩みなどがあれば私達が相談に乗り解決の手助けをすることもできます。私達も生徒が毎日「学校へ行こう！」と思えるような環境づくりをしながら、悩みを解決したり成長を手助けしたりなどの支援をしていきたいと考えています。

これから3年間の高校生活が楽しく充実したものとなり、それぞれが希望の進路を実現して卒業していくためには、生徒自身の頑張りはもちろん保護者の皆様のご理解とご協力が必要です。私達も生徒の成長のために精一杯取り組んで参りますので、これから3年間、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

学年目標を3年連続で「凡事徹底」とする。

高校生活も二年が過ぎ殆どの生徒は落ち着いた学校生活を送っている。しかし卒業後を見据えて様々な資格取得に挑戦した生徒。部活動に熱心に取り組む生徒がいるなかで、目的意識すら感じさせない生徒も若干見受けられた。まもなく部活動の集大成の高校総体や甲子園予選が始まる。その後は進路決定に向けての大詰めの日々がやってくる。進路目標達成に向けて、今やるべきことは何なのかをしっかりと考え行動し、卒業後のビジョンを見据えて学校生活を送ってほしい。

「凡事徹底」何でもない平凡なことをしっかりとやっていく。



3学年主任
小野 司

凡事徹底

付けてほしいと思います。我々学年団も、生徒を信頼し、認め合い、支え合い、高め合いながら指導に当たりたいと考えております。

今年度の学校経営方針に、

- ・生徒のワクワクが止まらない学校
- ・生徒が主役の学校
- ・保護者のワクワクに応える学校
- ・地域のワクワクを盛り上げる学校

さらに、進化して世界をリードする農業専門高校という文言があります。本校の教育活動により、多くの人にとって皆さんのワクワクが訪れるよう取り組んで参りますのでよろしくをお願いいたします。

人事異動に伴い、お隣の青森県立五所川原工科高等学校より参りました。ここ五所川原農林高校は新採用で赴任し、16年間お世話になりました。その後、五所川原市内、黒石市、青森市の高校で勤務し、25年ぶりの勤



事務長
福士 桂子

八戸水産高校から赴任しました。専門は海・船・魚です。1月12日～3月19日まで国際航海実習でハワイ沖のマグロを獲っていました。出身は館鼻朝市で有名な八戸市湊町です。単身赴任となり、久しぶりの一人暮らしで、エルム周辺を満喫しています。これから本校の広い敷地と農作物を満喫していきたいと思っています。まだまだ上陸したばかりで地に足が着いていませんが、精一杯頑張りますので、よろしく願いいたします。



教頭
木村 文昭

NEW FACE

紹介

みなさん
よろしく
お願いします。

務となりました。懐かしさでいっぱいですが、これからの行事等が楽しみです。これまでの経験を生かし、安心して、楽しく勉強・実習に取り組めるように、学習環境を整えることを目標に頑張りたいと思います。よろしくをお願いいたします。

担当…農業 進路指導部
部活動…バスケットボール部

三本木農業恵拓高校から赴任しました。初めて津軽で勤務することになり、不安な中でスタートしましたが、五農生の明るさや素直さに感心しているとありますが、広い農場を最大限に活用しながら、生徒とともに様々なことに挑戦し頑張りたいです。少しでも早く津軽弁を使いこなせるようになりたいと思っていますので様々なご指導ください。よろしくをお願いいたします。



新山 遥希



せい こう
正剛

めい ろう
明朗

校長 玉井 勝弘

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対して多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

新入生99名を迎え入れ、全校生徒278名でスタートした令和6年度。1学期始業式では、学校の教育方針や、生徒のあるべき姿が示されている校訓について話をしました。五所川原農林高校は創立122年目を迎えますが、歴史をたどると「正剛明朗」は本校の3番目の校訓になります。

本校が創立された明治35年、青森県内は冷害の大飢饉で食糧不足に苦しみ、八甲田山「死の行軍」事件が発覚、日英同盟協約が締結された年に最初の校訓「仁義を尚び、忠孝を重んじ、公德を養う」が定められました。生徒のあるべき姿として「礼儀を身につけ、立場をわきまえた行動をし、社会のルールを守る人間」の育成を目指していました。

2番目の校訓は「質実剛健」。今から100年前の昭和初期、外国から様々な文化が入り華やかさが増してきた時代、中身が充実して、飾りがなく、強く逞しい人、見た目より中身がしっかりした人を生徒のあるべき姿と考え教育活動が行われたようです。

そして今から60年前の昭和39年、第2次世界大戦の終戦から10年が経ち、日本が高度経済成長期に入ろうとしているときに定められたのが、「正しく、剛く、明るく、朗らか」のあるべき生徒

の姿とした「正剛明朗」です。

昨年1年間生徒と接して強く感じたのは、明るく元氣な挨拶、校内外での実習を通して培われた体力など、校訓の「正剛明朗」が身についていることでした。「正」については、善悪の判断はもちろんですが、五農での様々な学びの場面を通して、情報化社会に生きる生徒たちが、「自分は何ができるのか、何をしたいのか、何をすべきか」を自分で判断して行動できるようにしなければ身につくのではないのでしょうか。

校訓制定から60年を経て時代は大きく変化しましたが、人生百年時代を生き抜くことができるよう、「正しく、剛く、明るく、朗らか」な生徒が求められていると考えます。

本校では理想の学校像として「ワークチャレンジ！ スマイル 五農」を掲げ、生徒が授業や行事など、様々な活動に興味関心をもって楽しみながら取り組み、成就感や自己肯定感を感じる教育活動を行っていきます。保護者の皆様には、様々な機会にぜひ学校を訪問していただき、お子様の活動する姿をご覧いただきたいと思っています。

今年度も夢の実現に向かって取り組む生徒を全教職員が全力でサポートしていきますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

五農勤務3回目の一年が過ぎました。高校時代も加えると30回目の五農の春を実感しています。本校の授業や学校行事の多くは自然の流れとともに行われています。季節に関する主な行事をあげると、4月の野菜苗販売、5月の全校田植え競技会、9月の全校稲刈り競技会、11月の五農祭などがあります。その他にも通常の授業の中で、果樹であれば植え付け、摘花、摘果、摘葉、収穫等、野菜であれば播種、植え付け、施肥、摘心、収穫等の実習が農作物の成長と並行して行われます。私自身は森林、林業が専門で、その一部として自然の生態についても観察してきました。学校の敷地内は自然の多様性が豊かで、その一部を季節のうつろいとともに紹介したいと思っています。

今年初めてキクの仲間「アズマギク」が4月に開花しているのを校地に接する農道で発見しました。芝生のような草地環境を好み、全国的には希少種扱いされています。6月にはつがる市のベンセ湿原で有名な紫色が美しい「ノハナシヨウブ」が校地内の農道水路にたくさん開花します。7月から秋にかけては秋の七草の一つ「カワラナデシコ」が同じ農道周辺で可憐なピンク色の花を咲かせます。本校にはひょうたん池というビオト



アズマギク



カワラナデシコ

ブがあり、その周辺には青森県最重要希少野生生物（Aランク）に指定されている「エゾノウワミズザクラ」が生育しています。これは本校卒業生から譲り受けたものと、生育している岩木川河川敷から国の許可を得て採取してきたものを移植しています。ソメイヨシノが散った10日後ぐらいに開花する幻のサクラと言われています。もともと北海道だけに生育しているといわれているサクラですが、20年ほど前に岩木川河川敷で発見されました。絶滅しないように本校で養成しているのです。植物の他にも冬には天然記念物の鳥「オジロワシ」を何度も上空で確認しています。また、夏場には準絶滅危惧種の鳥「ミサゴ」という水に飛び込んで餌をとるタカも本校上空で時々見ることがあります。農業高校は農地とともにこのような豊かな自然環境も育まれています。そのような視点を持つて四季折々の自然を観察しながら学校生活を送るのも楽しいのではないのでしょうか。

さて、本校の農業教育における実績は、アグリマイスター学校特別表彰、GLOBAL GAPやFSCの国際認証を取得したことなど、日本のみならず世界的にも名が知られ高い評価をいただいております。将来を見据え、持続可能な社会の実現に向けた意識の醸成のもとに、生徒ひとり一人が日々の学習の成果を生かし、次の社会で活躍するための土台となる重要な活動を実践しています。今後も、周囲や社会とよりよい関わりを持ちながら、人生を歩む上で、人としての在り方生き方をじっくり考えられる高校生活であってほしいと思います。

一方、学校生活の中で生徒が新しい体験や発見を通して視野を広げることとはもちろん、苦手なことや得意ではないことにもしっかりと向き合い、最後までやり通す力も身に付けていく必要があります。逃げず、投げ出さずといった姿勢は、社会に出てからの責任感、協調性と



教務主任
越谷 晋樹

農業高校での経験をもとに

五所川原農林高校での勤務が通算19年目になりました。

今年度も教務部を担当しますが、生徒にとって3年しかない高校生活がより充実した学校生活となるよう、これまでの取組みを充実させながら確実に歩を進めて参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

さて、本校の農業教育における実績は、アグリマイスター学校特別表彰、GLOBAL GAPやFSCの国際認証を取得したことなど、日本のみならず世界的にも名が知られ高い評価をいただいております。将来を見据え、持続可能な社会の実現に向けた意識の醸成のもとに、生徒ひとり一人が日々の学習の成果を生かし、次の社会で活躍するための土台となる重要な活動を実践しています。今後も、周囲や社会とよりよい関わりを持ちながら、人生を歩む上で、人としての在り方生き方をじっくり考えられる高校生活であってほしいと思います。